

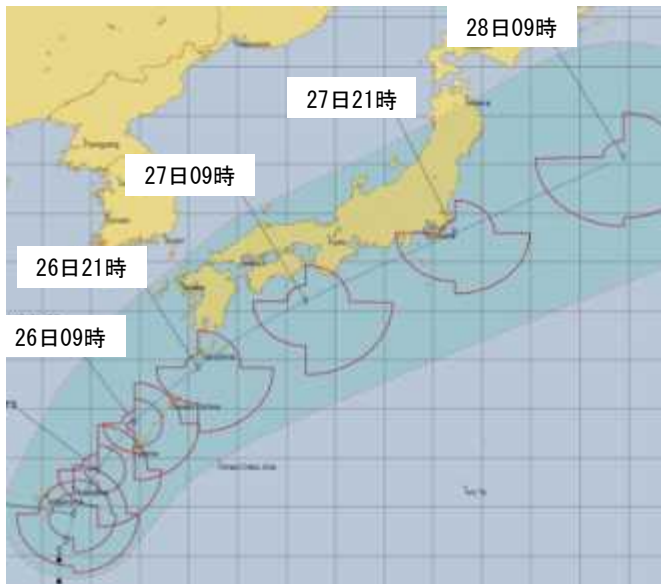
【台風7・8号関連報告資料（第3報）】
（下線部は前報告からの変化・追加事項）

8. 6. 25 15:00 現在
危機管理監

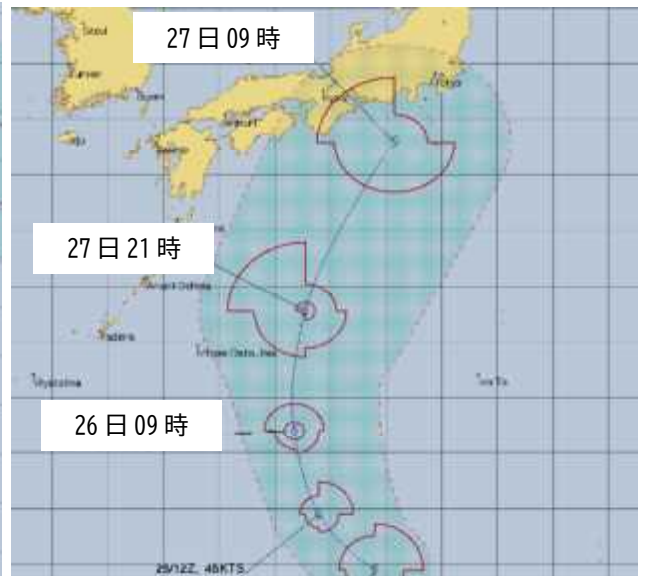
1 台風7・8号の状況

(1) 台風予想図

JTWC (Joint Typhoon Warning Center) 米軍情報 (25日12時現在)

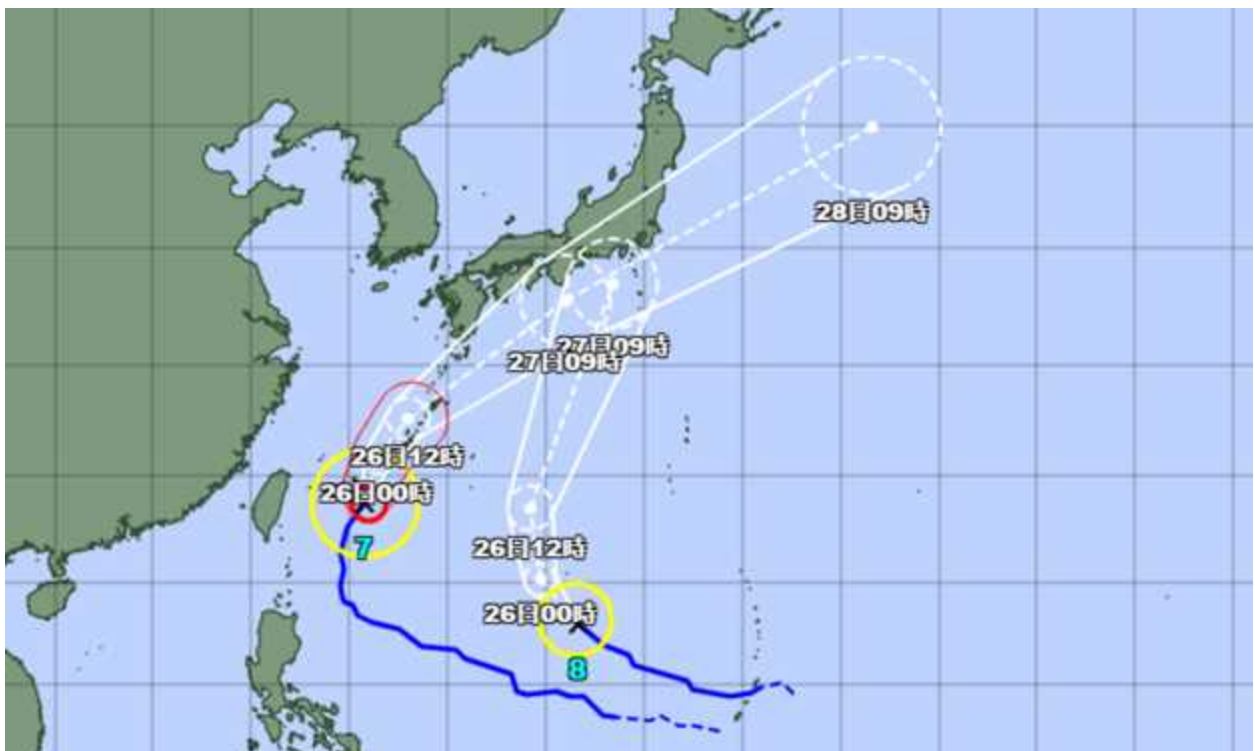


台風7号



台風8号

気象庁予想図 (25日13時現在)



(2) 台風の状況等 (6月25日13時現在)

	台風7号	台風8号
位置	宮古島南南東約130km	フィリピンの東
中心気圧	985hPa	998hPa
強さ	—	—
最大風速(瞬間)	30m/s (40m/s)	23m/s (35m/s)
進行方向、速さ	北東、15km/h	西北西、25km/h

(3) 分析 (25日15時現在)

ア 気象庁の予報では進路が昨日より北に偏位し、台風6号とほぼ同じコースが予想されているが、米軍情報では房総半島南海上を通過する予想であり、この二つの範囲内で進路をとると予想される。関東地方への最接近は、27日(土)夕～夜頃で、28日(日)早朝には岩手県沖海上と予想される。

本州南海上に前線があり、これが抵抗帯となって両台風が本州に上陸する可能性は低いと予想される。

イ 台風7号は、昨日より勢力を落とし、今後、本州接近に伴いさらに勢力を弱め、関東に最接近する頃には990hPa程度になるものと予想される。進路と相まって狛江市が暴風圏に入るか否かは現時点では判断できない。

ウ 台風8号は現時点では998hPaであり、今後も終始1000hPa前後で推移し、台風的全期間を通じて暴風圏も発生せず、27日(土)朝頃、熱帯低気圧に変化する予想であり、関東地方への影響は低い。

エ 風については、台風8号の影響は小さく、台風7号が最接近する27日(土)昼～夜に一時的に10m/s程度の風が吹く可能性がある

オ 雨については、狛江市では28日(日)まで曇り～雨の天気が続く。南海上にある前線が、27日(土)頃には一時的に本州太平洋岸まで押し上げられるため、26日(金)深夜から27日(土)夜くらいまでまとまった雨が予想されるが、28日(日)朝には再び前線が南海上に押し下げられる予想のため、28日は(日)は曇り～一時的な少雨の天候が見込まれる。

雨量については、激しい時間帯で15～25mm/h程度と予想される。

カ 26日～28日までの予想天気図



※ 雨のピークは27日(土)朝～夕(一時的に15mm/h～25mm/h)
風のピークは27日(日)昼頃(10m/s前後)

2 市の対応案

(1) 週末に最接近するため、26日(金)までに必要な態勢を整えるべく、25日(木)16時から第1回臨時庁議を、26日(金)13時15分から第2回臨時庁議を実施して、情報の共有を図り、対策・処置を検討する。

(2) 市の態勢案

- ・ 関東地方最接近にあわせて26日（金）夕から情報収集態勢に移行し、じ後、警報が発令された場合は情報連絡態勢に移行する。
- ・ 台風接近にあわせて、26日（金）に「台風接近に伴う注意喚起」をHP、SNSで発信する。じ後、警報、危険警報、河川の氾濫危険警報等の発表に伴い、市内に大きな影響がないと判断された場合でも、逐次HP、SNSで現況を発信し、市民の過度な反応による事故等の防止、精神的安定に努める。

(3) 現時点での準備事項

- ・ 継続的な台風情報の入手（特に27日、28日の天候、交通機関等）
- ・ 庁内の連絡態勢の確立
- ・ 庁舎及び各部が所管する施設の台風対策（大雨、強風対策）
- ・ 庁用車の給油、充電
- ・ 関係機関、事業者との連絡態勢の確立
- ・ 27日～28日のイベント、事業等の判断